

皮膚科学

A 欧 文

A-a

1. Murota H, Hamasaki Y, Nakashima T, Yamamoto K, Katayama I, Matsuyama T: Disruption of tumor necrosis factor receptor p55 impairs collagen turnover in experimentally induced sclerodermic skin fibroblasts. *Arthritis Rheumatism* 48(4): 1117-1125, 2003 * ○★
2. Imaizumi Y, Murota H, Kanda S, Hishikawa Y, Koji T, Taguchi T, Tanaka Y, Yamada Y, Ikeda S, Kohno T, Yamamoto K, Mori N, Tomonaga M, Matsuyama T: Expression of the c-Met proto-oncogene and its possible involvement in liver invasion in adult T-cell leukemia. *Clin Cancer Res*, 9: 181-187, 2003 *
3. Yokozeki H, Wu M-H, Sumi K, Igawa K, Miyazaki Y, Katayama I, Takeda K, Akira S, Nishioka K: Th2 cytokines, IgE and mast cells play a crucial role in the induction of para-phenylenediamine-induced contact hypersensitivity in mice. *Clin Exp Immunol*, 132: 385-392, 2003 * ☆
4. Katayama I, Ashida M, Maeda A, Eishi K, Murota H, Bae SJ: Open trial of topical tacalcitol [$1\alpha 24(OH)2D3$] and solar irradiation for vitiligo vulgaris: upregulation of c-Kit mRNA by cultured melanocytes. *Eur J Dermatol*, 13: 372-376, 2003 *
5. Yamamoto T, Katayama I, Nishioka K: Role of mast cells in dermatofibroma: recent viewpoints into the pathogenesis. *Eur J Dermatol*, 13: 419-423, 2003 *
6. Katayama I, Hirayama M, Eishi K: Basaloid follicular hamartoma with eruptive milia and hypohidrosis: is there a pathogenic relationship? *Eur J Dermatol*, 13: 505-508, 2003 *
7. Ogawa F, Udono M, Murota H, Shimizu K, Takahashi H, Ishida-Yamamoto A, Iizuka H, Katayama I: Olmsted syndrome with squamous cell carcinoma of the extremities and adenocarcinoma of the lung: failure to detect loricrin gene mutation. *Eur J Dermatol*, 13: 524-528 2003 *
8. Higuchi T, Satoh T, Yokozeki H, Katayama I, Nishioka K: Palpebral edema as a cutaneous manifestation of hyperthyroidism. *J Am Acad Dermatol*, 48(4): 617-619, 2003 *
9. Shimizu K, Naito S, Urata Y, Takamiyagi A, Bae SJ, Ogawa F, Kondo T, Katayama I: The induction of heme oxygenase-1 by exogenous nitric oxide in *ex vivo* normal human skin. *J Dermatol*, 30(1): 17-25, 2003 *
10. Eishi K, Bae SJ, Ogawa F, Hamasaki Y, Shimizu K, Katayama I: Silicone gel sheets relieve pain and pruritus with clinical improvement of keloid: possible target of mast cells. *J Dermatolog Treat*, 14(4): 248-52, 2003

A-d

1. Kamei T, Hata K, Toriumi Y, Udono M: Effect of Sho-Seiryu-To (Xiao-Zing-Long-Tang) to skin eruption, itching, and peripheral eosinophil level in an elderly patient with chronic eczema. *Proceedings of the 11th International Congress of Oriental Medicine, PSB9 (5 pages), 2001*

B 邦 文

B-a

1. 原 肇秀, 片山一朗: 【一口に光線過敏症というけれど】 青年に好発する光線過敏症 solar purpura, *Visual Dermatology* 2(5): 438-439, 2003
2. 片山一朗, 塚崎直子, 濱崎洋一郎: 【一口に光線過敏症というけれど】 光線曝露によって増悪する疾患 光線テストで皮疹が誘発されたエリテマトーデス症例, *Visual Dermatology*, 2(5): 466-467, 2003
3. 片山一朗, 末吉富美子, 田中洋一: 【痒みシユラン 痒い皮膚病・決定版】 頑固で慢性の痒み HIV 感染者に生じ、活性型ビタミン D3 外用にて改善した結節性痒疹, *Visual Dermatology* 2(9): 928-929, 2003
4. 清水和宏, 片山一朗, 岩月啓氏: 【リンパ腫を見逃さないために】 特徴的皮膚所見を示すリンパ腫 妊婦腹壁の皮下脂肪織炎型リンパ腫, *Visual Dermatology*, 2(10): 1038-1039, 2003
5. 西村香織, 片山一朗: 【これでわかるパッチテストの読み方】 化粧品成分 染毛剤による色素沈着性接触皮膚炎, *Visual Dermatology*, 3(1): 36-37, 2003
6. 竹中 基, 片山一朗: 【これでわかるパッチテストの読み方】 植物 SLE を疑ったサクラソウ皮膚炎, *Visual Dermatology*, 3(1): 46-47, 2003
7. 末吉富美子, 室田浩之, 片山一朗: 【これでわかるパッチテストの読み方】 非ステロイド モーラステープに含まれたケトプロフェンによる光接触皮膚炎, *Visual Dermatology*, 3(1): 56-57, 2003

8. 室井栄治、濱崎洋一郎、西本勝太郎：Clinico-Pathological Conference 症例 1：顔面の多発性結節を呈した症例〈症例・経過及び設問〉〈解答及び解説〉、真菌誌、44(4)：307、311-314、2003
9. 原 肇秀、鳥山 史、上田康雄、濱崎洋一郎、片山一朗：肥満、インスリン抵抗性を伴った多発性皮膚線維腫の 1 例、西日皮膚、65(1)：20-24、2003
10. 室井栄治、室田浩之、濱崎洋一郎、片山一朗、一ノ瀬弥久：臨床的に強皮症を疑った反射性交感神経性ジストロフィー (RSD) の 1 例、西日皮膚、65(6)：546-549、2003
11. 西村香織、塚崎直子、片山一朗、中村茂、小池マリ、藤井弘之：金属パッチテスト陽性皮膚疾患患者での歯科金属除去効果の検討、日皮会誌、113(2)：159-163、2003
12. 原 肇秀、塚崎直子、片山一朗、西本勝太郎、渡辺雅久：UVB 照射にて点状紫斑を誘発しえた solar purpura の 3 例 紫斑型の多形日光疹との関連を含めて、日皮会誌、113(4)：423-430、2003
13. 鶴山雄一郎、濱崎洋一郎、片山一朗：【…と思われた症例 実例に学ぶ鑑別診断】 蜂窩織炎と思われた psychogenic purpura、皮膚病診療、25(増 2)：117-120、2003
14. 分山英子、濱崎洋一郎、片山一朗：【…と思われた症例 実例に学ぶ鑑別診断】 乳児強皮症と思われた Hutchinson-Gilford 症候群、皮膚病診療、25(増 2)：93-96、2003
15. 原 肇秀、片山一朗：臨床的に papillomatose confluenta et reticulae を思わせたガンマナイフ皮膚炎の 1 例、皮膚臨床、45(2)：187-190、2003
16. 竹中 基、西村香織、片山一朗、篠田英和：プロブコールによる扁平苔癬型薬疹の 1 例、皮膚臨床、45(6)：693-695、2003
17. 小川文秀、清水和宏、片山一朗：油症患者における皮丘・皮野面積の検討、福岡医誌、94(5)：108-109、2003
18. 川島 眞、大槻マミ太郎、柴田義貞、原田昭太郎、中川秀己、FK506 軟膏研究会(片山一朗、竹中基、松永義孝)：FK506 (タクロリムス) 軟膏の小児アトピー性皮膚炎患者に対する第Ⅲ相試験 一軟膏基剤を対照とした二重盲検群間比較試験一、臨床医薬、19(6)：569-595、2003
19. 川島 眞、大槻マミ太郎、柴田義貞、原田昭太郎、中川秀己、FK506 軟膏研究会(片山一朗、竹中 基、松永義孝、小川文秀)：FK506(タクロリムス)軟膏の小児アトピー性皮膚炎患者に対する長期観察試験、臨床医薬、19(6)：597-636、2003
20. 片山一朗：【シリーズ最新医学講座 免疫機能検査】 アレルギー性皮膚疾患の免疫機能検査、臨床検査、47(8)：913-920、2003
21. 滝川雅浩、川島 眞、古江増隆、飯塚 一、伊藤雅章、中川秀己、塩原哲夫、島田眞路、竹原和彦、宮地良樹、古川福実、岩月啓氏、橋本公二、片山一朗：【臨床統計】 AD Forum アトピー性皮膚炎の診療に対する医師の認識についてのアンケート調査(第 3 報)、臨皮、57(4)：343-352、2003

B-b

1. 竹中 基、片山一朗：膝臑に高度な湿疹性変化がみられるアトピー性皮膚炎、Cawe Reports on Atopic Dermatitis, pp54-55, 2003
2. 廣瀬寮二：【オフィスダーマトロジーのための皮膚外科実践マニュアル】 皮膚科学的 debate が期待される皮膚外科領域の疾患 ケラトアcantoma の考え方と扱いについて、Derma, 81: 137-138, 2003
3. 廣瀬寮二、武石恵美子：【オフィスダーマトロジーのための皮膚外科実践マニュアル】 皮膚科学的 debate が期待される皮膚外科領域の疾患 Bowen's disease の初期治療と予後、Derma, 81: 148-154, 2003
4. 片山一朗：癬痒性皮膚疾患における抗ヒスタミン薬の新たな展望～塩酸セチリジンを中心として～コラム：心身医学的アプローチ、Medical Tribune, 36(23): 13, 2003
5. 片山一朗：癬痒性皮膚疾患における抗ヒスタミン薬の新たな展望～塩酸セチリジンを中心として～コラム：シェーグレン症候群、Medical Tribune, 36(24): 33, 2003
6. 片山一朗：【第53回日本アレルギー学会直前特集】 アトピー性皮膚炎の薬物治療、Medicament News, 1777号；5-7、2003
7. 廣瀬寮二：日光による前癌病変の病態と治療 日光角化症、Skin Cancer, 18(2): 106-114, 2003
8. 片山一朗：【慢性蕁麻疹の新しい発展】 成人の慢性蕁麻疹に対する薬物療法、アレルギー・免疫、10(5)：598-604、2003
9. 片山一朗：【話題】 線維芽細胞とアレルギー、アレルギー科、15(5)：425-430、2003
10. 片山一朗：【アレルギーと疾患】 アレルギーの病態と治療 アレルギー性皮膚炎、医学と薬学、49(1)：22-29、2003
11. 廣瀬寮二：【生涯教育シリーズ】 皮膚癌におけるインフォームド・コンセント、長崎市医師会報、37(7)：18-20、2003
12. 片山一朗：小児アトピー性皮膚炎の診断と治療 アトピー性皮膚炎の診断と治療、日小皮会誌、22(2)：138-142、2003
13. 片山一朗：かゆみを制御する かゆみの治療最前線、日小皮会誌、22(2)：89-91、2003
14. 片山一朗(司会)、片岡葉子、羽白 誠、安藤哲也：アトピー性皮膚炎の治療一心身医学的側面から考える一、日本

医事新報、No4125；C1-C6、2003

15. 松本忠彦、西本勝太郎：侵襲性真菌症の皮膚病変、日本医真菌学会雑誌、44：193-196、2003
16. 片山一朗：アトピー性皮膚炎の薬物治療の考え方 外用ステロイドの作用機序と使い方、日本小児臨床薬理学会雑誌、16(1)：20-23、2003
17. 堀 真：アンケート特集 乾癬の治療—私はこうしている：大切なのは定期的な受診—食事指導が著効する場合も、皮膚病診療、21(6)：536-537、1999
18. 平山美奈子、竹中 基、片山一朗：漢方薬の薬疹？ センノシド及びイチョウの葉エキスによる薬疹、皮膚病診療、25(2)：221-222、2003
19. 片山一朗：暮らしと健康相談室：膠原病の可能性が気になる、暮らしと健康、2003、9月号：91、2003
20. 廣瀬源二、武石恵美子：【ここまで知っておきたい癌の薬物療法】 各臓器癌における薬物療法の実際 皮膚癌の薬物療法、臨床と研究、80(7)：1274-1278、2003
21. 前田亜紀、片山一朗、芦田美輪：最近のトピックス2003 【皮膚疾患治療のポイント】 白斑のビタミン D3 外用療法、臨床皮膚科、57(5)：120-124、2003
22. 片山一朗：【話題】 ヒト皮膚上皮細胞から産生される thymic stromal lymphopoietin (TSLP) が樹上細胞の活性化を介してアレルギー性炎症を増強する、臨床免疫、39(3)：321-326、2003
23. 室田浩之、Bae SangJae、堀内保宏、片山一朗：【TLR の感染と病態における意義】 線維芽細胞における TLR2,4 の発現とその意義、臨床免疫、40(3)：272-275、2003
24. 片山一朗：Clinical Exercises 12：(241: SLE でみられる光線過敏症、242: PCT) 出題と解答／解説、臨床皮、57(4)：360、434、2003

B-c

1. 編集：中川武正、片山一朗、岡本美孝：アレルギー疾患 専門医にきく最新の臨床、中川武正、片山一朗、岡本美孝編集、中外医学社（東京）、2003
2. 竹中 基：薬物アレルギーを疑うのは—どんなときに薬物アレルギーを疑いますか。薬疹の病型分類と臨床症状を教えてください、アレルギー疾患—専門医にきく最新の臨床、中川武正、片山一朗、岡本美孝編、中外医学社（東京）、p23-25、2003
3. 竹中 基：食物アレルギーを疑うのは—どんなときに食物アレルギーを疑いますか。食物アレルギー患者にみられる皮膚症状はどのようなもののでしょうか、アレルギー疾患—専門医にきく最新の臨床、中川武正、片山一朗、岡本美孝編、中外医学社（東京）、p26-27、2003
4. 竹中 基：リンパ球刺激試験—リンパ球幼若試験の施行方法と評価方法を教えてください、アレルギー疾患—専門医にきく最新の臨床、中川武正、片山一朗、岡本美孝編、中外医学社（東京）、p80-81、2003
5. 片山一朗：アトピー性皮膚炎の悪化因子と患者指導、アレルギー疾患 専門医にきく最新の臨床、中川武正、片山一朗、岡本美孝編集、中外医学社（東京）、pp236-238、2003
6. 片山一朗：難治性アトピー性皮膚炎の治療法、アレルギー疾患 専門医にきく最新の臨床、中川武正、片山一朗、岡本美孝編集、中外医学社（東京）、pp239-241、2003
7. 片山一朗：アトピー性皮膚炎 注意すべき合併症とその対策、アレルギー疾患 専門医にきく最新の臨床、中川武正、片山一朗、岡本美孝編集、中外医学社（東京）、pp242-244、2003
8. 鳥山 史：ラテックスアレルギー—ラテックスアレルギー latex allergy とはどのようなアレルギーですか？、アレルギー疾患 専門医にきく最新の臨床、中川武正、片山一朗、岡本美孝編集、中外医学社（東京）、pp294-296、2003
9. 編集：片山一朗：シェーグレン症候群の基礎と臨床、片山一朗編、医薬ジャーナル社、2003
10. 片山一朗：シェーグレン症候群の診断の進め方 c. 皮膚乾燥症状、シェーグレン症候群の基礎と臨床、片山一朗編、医薬ジャーナル社、pp85-92、2003
11. 濱崎洋一郎、武石恵美子、片山一朗：シェーグレン症候群と皮膚症状、シェーグレン症候群の基礎と臨床、片山一朗編、医薬ジャーナル社、pp197-205、2003
12. 片山一朗：アトピー性皮膚炎、今日の治療指針2002年版 [ポケット版]、山口 徹、北原光夫総編集、医学書院（東京）、p777-779、2003
13. 片山一朗：薬疹、今日の診療のために ガイドライン外来診療2003、泉孝英編集主幹、日経メディカル開発（東京）、p.309-315、2003
14. 西本勝太郎：真菌の分類・検査法、最新皮膚科学大系 14. 細菌・真菌性疾患（中山書店）、pp162-174、2003
15. 鳥山 史：ツツガムシ刺症、最新皮膚科学大系 16. 動物性皮膚症 環境因子による皮膚障害（中山書店）、pp78-80、2003
16. 片山一朗：湿疹・皮膚炎群、図解皮膚科学テキスト、石川 治、宮地良樹編、中外医学社、pp66-71、2003
17. 片山一朗：皮膚疾患、日常診療にすぐ役立つ各科常用最新処方、大石了三、柏木征三郎、久保千春、前原喜彦監修編集、大道学館出版部、pp451-480、2003

18. 濱崎洋一郎、片山一朗：抗リン脂質抗体症候群（APS）による潰瘍を治す、皮膚科診療プラクティス 15、難治性皮膚潰瘍を治すスキル、橋本公二、宮地良樹、瀧川雅浩編、文光堂（東京）、pp207-213、2003
19. 片山一朗：[免疫に関する問題の解説]、皮膚科専門医試験問題解説集—既出問題とその解説、小野友道、溝口昌子編、金原出版（東京）、p45、46、2003
20. 片山一朗：[SLEに関する問題の解説]、皮膚科専門医試験問題解説集—既出問題とその解説、小野友道、溝口昌子編、金原出版（東京）、p90-91、92、2003
21. 片山一朗：【薬剤・治療手技一覧表】 抗炎症薬、皮膚疾患最新の治療2003—2004、新村真人、滝川雅浩編集、南江堂（東京）、pp211-222、2003
22. 陣内逸郎、宮崎泰司、前田亜紀：メシル酸イマチニブにより全身性の多形滲出性紅斑用皮疹を起こした症例、慢性骨髄性白血病治療症例集～分子標的治療薬／メシル酸イマチニブ～、池田康夫監修、医薬ジャーナル社、pp47-50、2003

B-d

1. 平山美奈子、中山理子、鶴殿雅子：Qスイッチ付ルビレーザの治療経験、国立病院長崎医療センター医学雑誌、6：26-29、2003
2. 宿輪哲生、陳 文雅、山口耕一、岩崎啓介：アロプリノールによる hypersensitivity syndrome の1例、佐世保市立総合病院紀要、28：2002
3. 片山一朗：指定演題 3. ストレスによるアトピー性皮膚炎の増悪機序の検討、第12回国際痒みシンポジウム記録集、(株)メディカルジャーナル社、pp48-52、2003
4. 竹中 基、片山一朗：Erythrokeratoderma with ataxia と考えられた1例、第18回角化症研究会記録集 [2003年8月9日、東京商工会議所]、中外製薬（東京）発行、pp100-103、2003
5. 片山一朗：ストレス刺激による皮膚構成細胞からのサブスタンスP産生、第5回サブスタンスP研究会記録集 [2002年11月30日、横浜ロイヤルパークホテル]、主催：日本オルガノン(株)、pp5-6、2003
6. 片山一朗、清水和宏、小川文秀：油症患者における血中 Mn-superoxide dismutase 濃度の検討、平成13年度油症研究報告集（長崎県油症研究班）、p5-7、2002
7. 片山一朗、清水和宏、小川文秀：油症患者における皮丘・皮野面積の検討、平成13年度油症研究報告集（長崎県油症研究班）、p8-10、2002
8. 片山一朗、清水和宏、小川文秀：油症患者における尿中 8-isoprostane の検討、平成14年度厚生労働科学研究費補助金 食品・化学物質安全総合研究事業「熱媒体の人体影響とその治療法に関する研究」平成13・14年度総合研究報告書／平成14年度総括・分担研究報告書、主任研究者：古江増隆、p50-51、2003
9. 片山一朗、清水和宏、小川文秀：油症患者血中 natural killer 細胞活性の検討、平成14年度厚生労働科学研究費補助金 食品・化学物質安全総合研究事業「熱媒体の人体影響とその治療法に関する研究」平成13・14年度総合研究報告書／平成14年度総括・分担研究報告書、主任研究者：古江増隆、p52-53、2003
10. 清水和宏：Photodynamic therapy（光力学的治療）の皮膚疾患への応用、平成15年度日本皮膚科学会西部支部主催生涯教育セミナー [平成15年4月21日長崎大学ポンペ会館]抄録集、p7、2003
11. 濱崎洋一郎：膠原病の診療と治療—皮膚科医の役割と病診連携、平成15年度日本皮膚科学会西部支部主催生涯教育セミナー [平成15年4月21日長崎大学ポンペ会館]抄録集、p11、2003

原著論文数一覧

| | A-a | A-b | A-c | A-d | 合計 | SCI | B-a | B-b | B-c | B-d | 合計 | 総計 |
|------|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|
| 2003 | 10 | 0 | 0 | 1 | 11 | 9 | 21 | 24 | 22 | 11 | 78 | 89 |

学会発表数一覧

| | A-a | A-b | | 合計 | B-a | B-b | | 合計 | 総計 |
|------|-----|--------|----|----|-----|--------|-----|-----|-----|
| | | シンポジウム | 学会 | | | シンポジウム | 学会 | | |
| 2003 | 0 | 0 | 9 | 9 | 0 | 9 | 136 | 145 | 154 |

原著論文総数に係る教官生産係数一覧

| | 欧文論文総数 (論文総数) | 教官生産係数 (欧文論文) | S C I 掲載論文 欧文論文総数 | 教官生産係数 (S C I 掲載論文) |
|------|------------------|------------------|----------------------|------------------------|
| 2003 | 0.124 | 1.571 | 0.818 | 1.286 |

Impact factor 値一覧

| | Impact factor | 1 教官当たり Impact factor | 論文当たり Impact factor |
|------|---------------|-----------------------|---------------------|
| 2003 | 23.6 | 3.371 | 2.622 |